59-53

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 ７年 ６月２５日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所　愛知県豊田市陣中町２丁目８番地１５

氏名　沖土木建設株式会社

代表取締役　沖　剛史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0565-32-1519

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 ６ 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	沖土木建設株式会社
事業場の所在地	愛知県豊田市陣中町２丁目８番地１５
事業の種類	０６：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

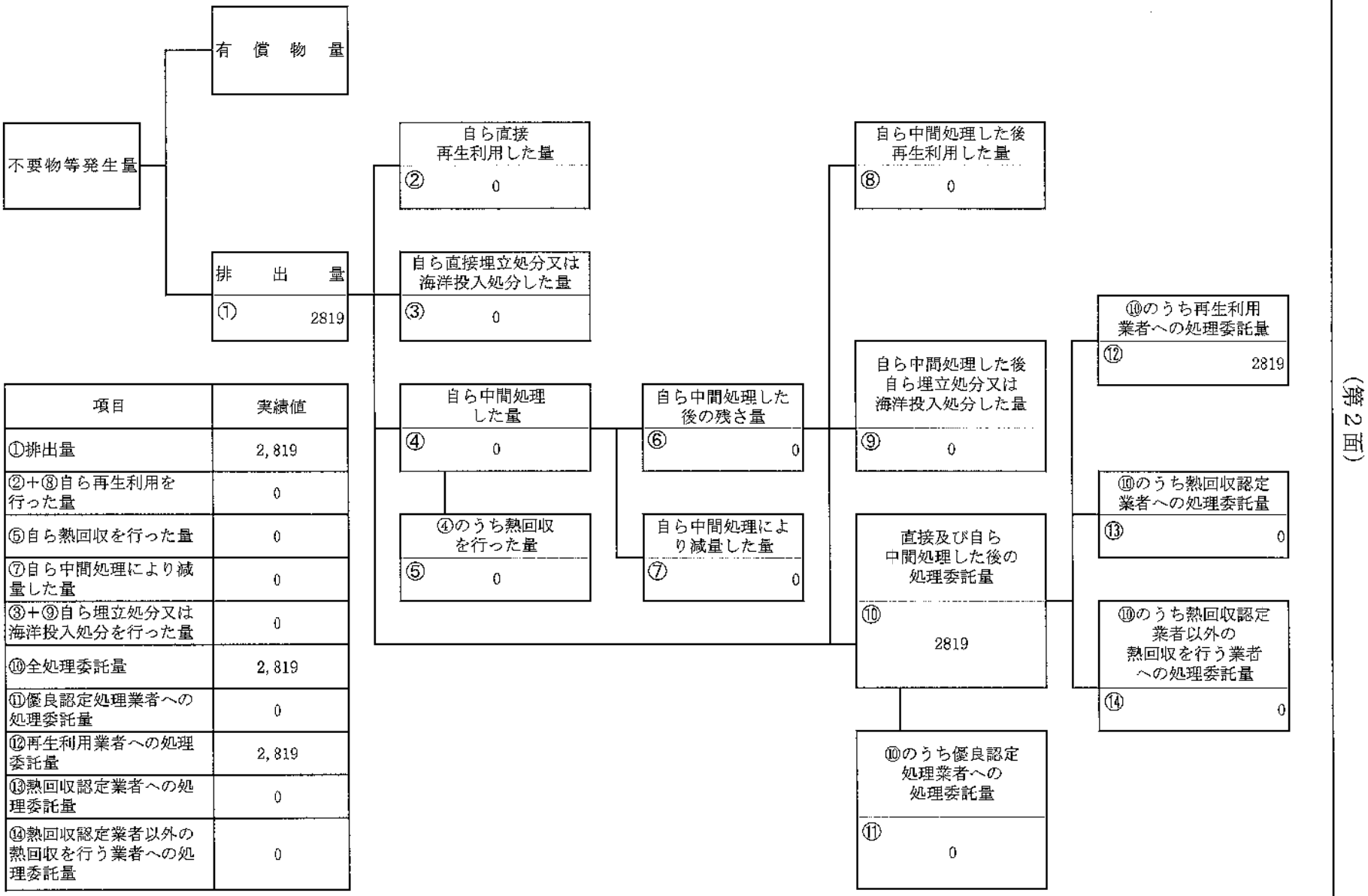
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4025 t	全処理委託量	4025 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	460 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3565 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

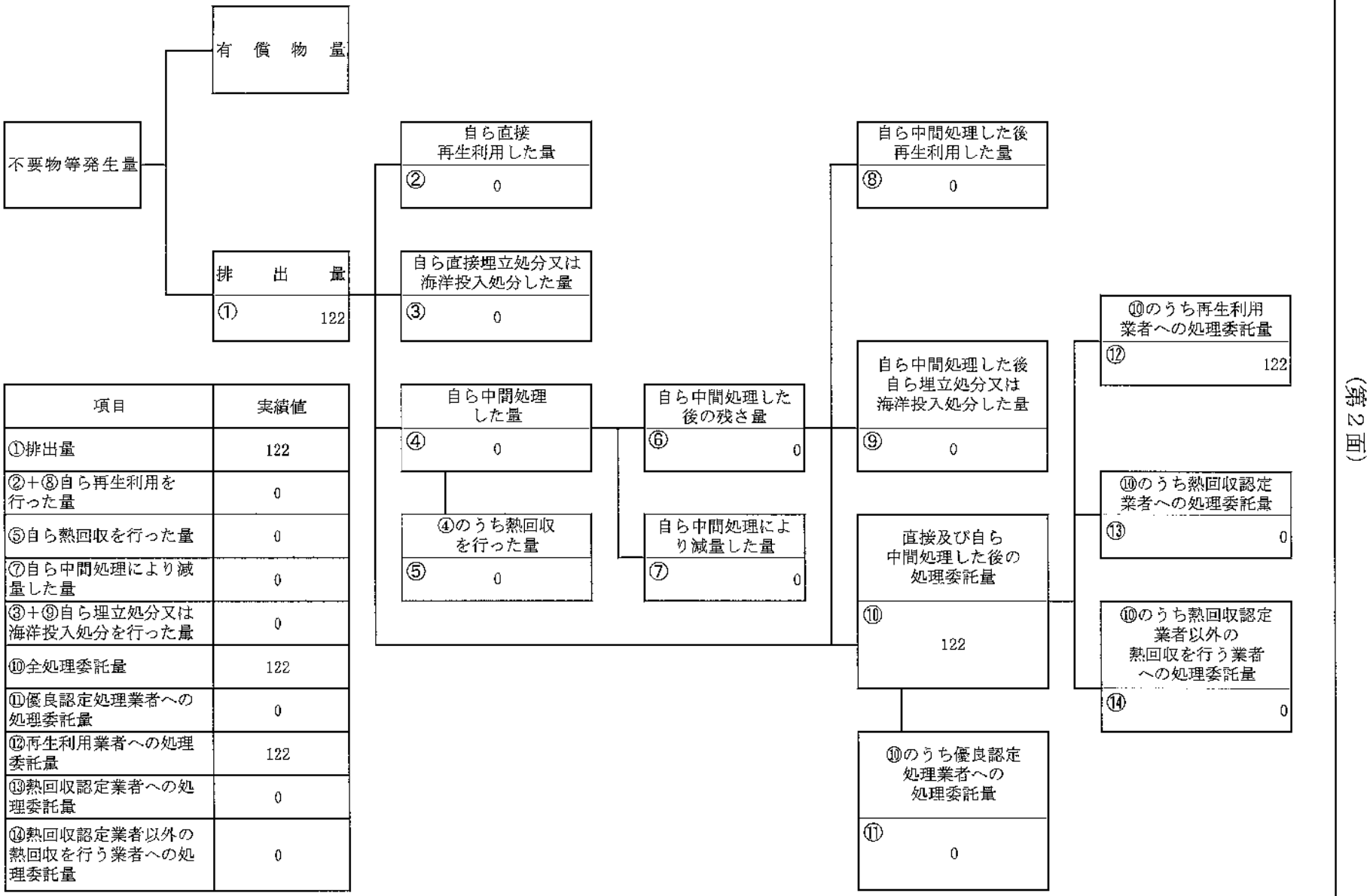


項目	実績値
①排出量	2,819
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,819
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2,819
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

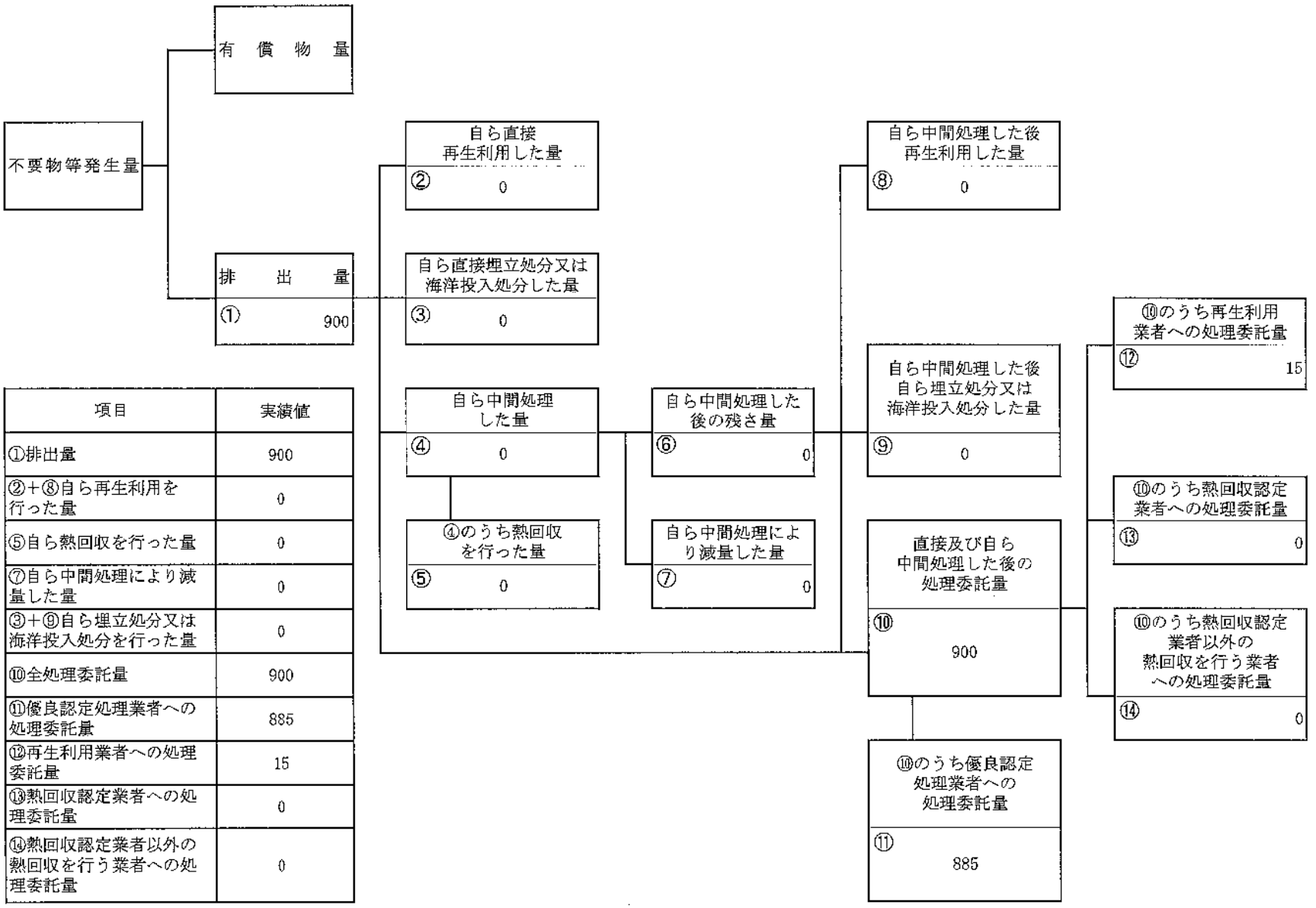


項目	実績値
①排出量	122
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	122
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	122
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混合　）

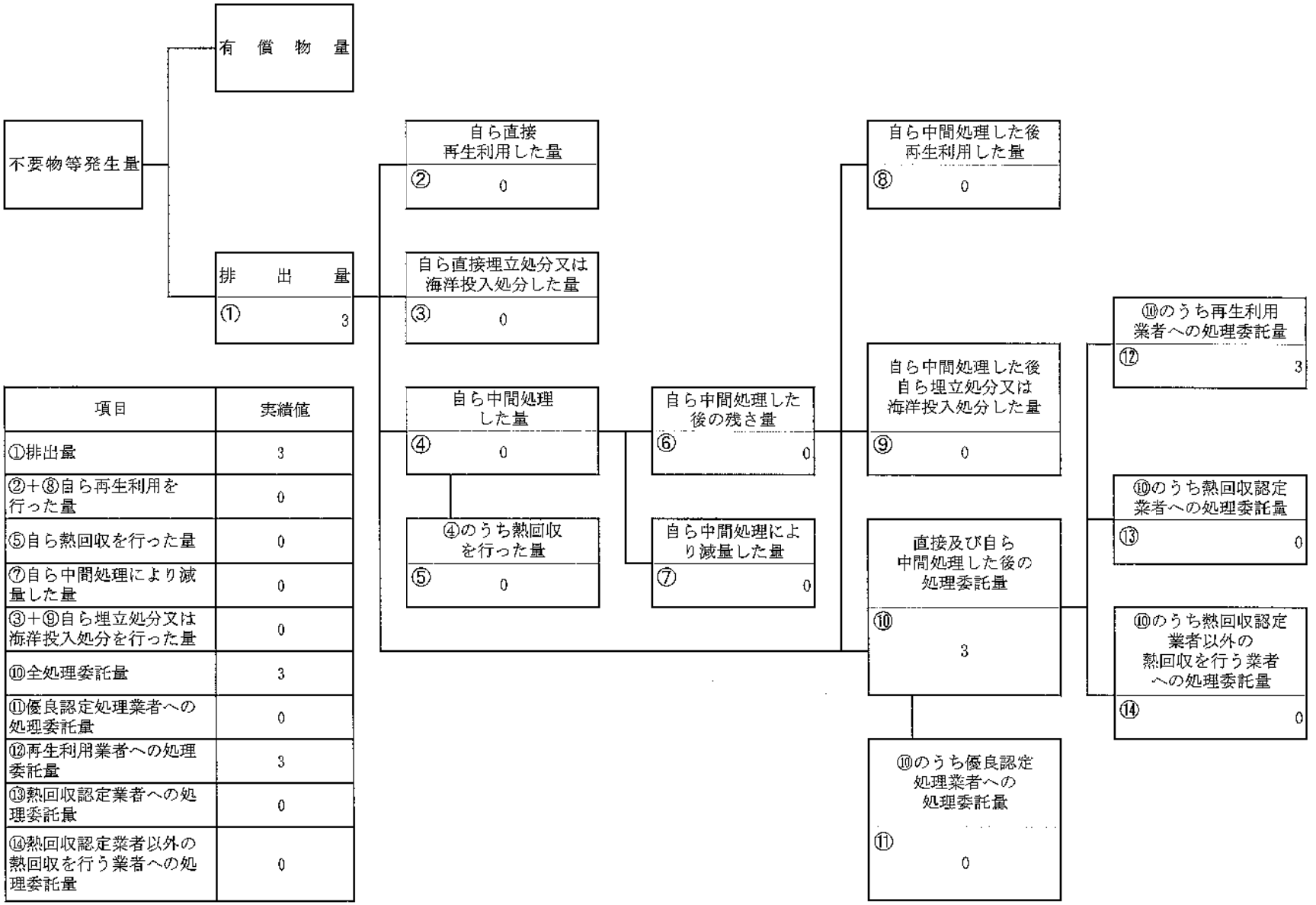


項目	実績値
①排出量	900
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	900
⑪優良認定処理業者への処理委託量	885
⑫再生利用業者への処理委託量	15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　）

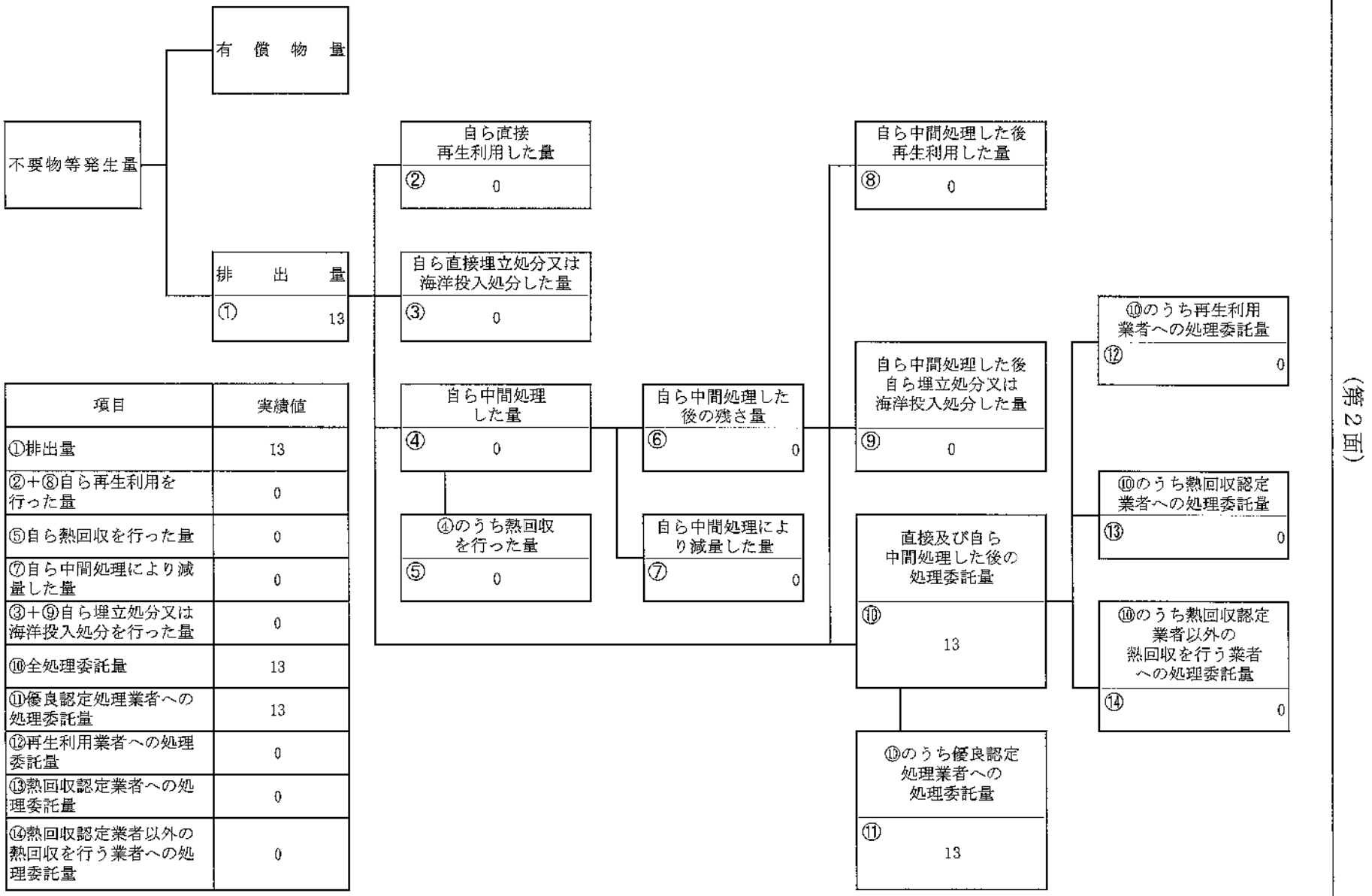


項目	実績値
①排出量	3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

産業廃棄物処理状況調査票

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	沖土木建設株式会社	従業員数（人）	13	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	大嶋　寛子	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	71500	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	0565-32-1519	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）		製造業の場合記入。 前年度の4月１日から3月31日までの１年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類（名称） / 項目		がれき類	木くず	混合	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	汚泥
		アス塊・コン塊	伐採木	廃棄物混じり土 ﾊﾟﾚｯﾄ	塩ビ類	カッター汚泥
前年度計画の実施状況～年度実績～	a 不要物等発生量（t/年）	2,819	122	900	3	13
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①＝a－b）	2,819	122	900	3	13
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦＝④－⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c＝⑥－⑧－⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d＝①－②－③－④）	2,819	122	900	3	13
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩＝c＋d）	2,819	122	900	3	13
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	2,819	122	900	3	13
	処理方法	A・B・(C)・D E（　）	A・B・(C)・D E（　）	A・B・C・D (E)（選別）	A・B・(C)・D E（　）	A・(B)・C・(D) E（　）
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	2,819	122	900	3	13
	再生利用用途	A・B・C・(D) E（　）	A・(B)・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・(B)・C・D E（　）	(A)・B・C・D E（　）
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量（t/年）（j＝②＋⑧＋h）	2,819	122	900	3	13
	k 中間処理による減量（t/年）（k＝⑦＋g）	0	0	0	0	0
	l 最終処分量（t/年）（l＝③＋⑨＋e＋i）	0	0	0	0	0

（注）1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）
3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破砕・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）
4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第２面と同じ項目です。